

## 【中予地域：人、モノ、情報を駆使して広域的な牽引力を発揮する高機能圏域の形成を目指します】

### 【地域の特性】

- 中予地域は、穏やかな瀬戸内海を臨む海岸部から重信川流域に松山平野が広がり、緩やかな丘陵が緑を彩りながら、山間部の石鎚国定公園へとつながるなど、豊かな自然や美しい景観に恵まれています。
- 管内人口は、本県の4割強を擁し、その中核都市である松山市への人口集中が進む一方で、地域全体では減少傾向にあり、特に久万高原町をはじめとする山間部、島しょ部では高齢化や人口減少が急速に進行する状況にあります。
- 松山市を中心とする都市部は、県内随一の商業機能に加え、医療、教育、文化、スポーツ等の施設が集積し、県内最大の観光地である道後温泉をはじめとして歴史や文学にまつわる観光資源が数多く存在しています。

また、空港・港湾や国際交流拠点施設が整備されているほか、在住外国人も多く、県内で最も国際性に富んだ地域であるとともに、美術館や博物館などの文化拠点施設や各種競技施設を中心に幅広い文化・スポーツ活動や交流が行われており、本県の産業や観光、文化、スポーツなど様々な分野のリーディングゾーンとなっています。

産業面では、化学繊維、一般機械、健康・医療機器、食品加工などの大手製造業や、これを支える中小関連企業のほか、県内の情報サービス業の大半が立地するなど多くの産業が集積しています。
- 一方、農林水産業を主たる産業とする地域においては、紅まどんな、せとか、甘平、キウイフルーツ、栗などの果樹、高冷地特有の気候を生かし環境に配慮したトマト、ピーマンをはじめとする高原野菜や高原育ちの清流米、媛っこ地鶏などの多様な農畜産物、豊かな森林資源を生かした木材、シラスやハモなどの水産物など、地域の特色ある農林水産物も盛んに産出されているほか、豊かな自然と美しい景観は、観光資源として高いポテンシャルを有しています。

### 【地域の課題】

- 中予地域では、行政機関や企業、大学等の教育機関が松山市を中心とする都市部に集積するという特性を生かし、地域間競争が激化する中、中予地域のみならず、愛媛全体の活性化を牽引する新たな取り組みが求められています。

また、空や海の玄関口を持つ地域特性を一層発揮し、これまでの観光資源に加えて、市町やDMO等と一体となった効果的な観光手法の推進などに取り組むとともに、今後一層の増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の充実に向けた新たな施策の展開が求められています。
- 松山市を中心とする都市部では、公園や下水道施設の整備、道路の渋滞の解消や歩行者等の安全確保など、都市機能の強化に加え、多様な水源の確保など水資源対策が急務になっているほか、都市近郊の豊かな自然環境の保全と環境に関する理解の促進が課題となっています。

一方、急速な高齢化や人口減少が進展している山間部や島しょ部では、集落機能の維持や生産・生活基盤の確保、地域の振興、安全・安心の確保が大きな課題となっており、その解決のためには、依然として遅れている社会資本整備、地域福祉の推進、若者の定住促進のほか、集落とNPO法人やボランティアとの交流や協働、都市と農村の交流、都市部が有する高次都市機能の活用など、新たな仕組みづくりが求められています。
- 平成30年7月豪雨災害により、山間部や島しょ部の道路や河川、農地などで広範囲に発生した被害からの迅速な復旧が課題となっています。

また、特に被害の大きかった松山市のかんきつ樹園地の復旧・復興に向けて、産地の将来を見据えた中長期の対応が求められています。

- 南海トラフ地震などの大規模災害が発生した場合、住民生活や経済活動に甚大な被害がもたらされ、その影響は県下全域に及ぶことから、災害防止のための基盤整備とともに、行政、消防、医療など関係機関がこれまで以上に連携して対応することが求められています。  
また、松山市など都市部に集中している救急医療機能を生かし、地域全体での安全・安心な地域医療の推進が求められています。
- 中予地域には魅力ある産業が数多くあるものの、情報発信が不十分であったり、地元消費者へのアピール度が低い農林水産物もあることから、新たな流通システムや新しい発想により消費者や異業種間の連携を進めるなど、更なる活力ある産業づくりへの取組みが課題となっています。

## 【地域振興の基本方向】

### 1 人・モノ・情報のネットワークづくり

- 産学官連携による人材の育成  
行政機関や企業、大学等の教育機関が中予地域に集積している強みを生かして、これからの愛媛を力強く牽引する人材を育成するとともに、人材育成・活用ネットワークを構築し、新たなイノベーションの創出や産業技術への応用につなげます。
- 交流による魅力とにぎわいの創出  
農山漁村でのグリーン・ツーリズムや石鎚山系等でのエコツーリズムの定着、団体旅行から個人旅行への観光形態の変化、中山間地域へのアクセス網の整備、さらにはサイクリング、ランニング、ウォーキングなどのスポーツを通じた健康志向の高まりなどを踏まえ、中予地域の自然、歴史、文化、施設などの地域資源を広域的に結んだ体験型観光・交流ルートやサイクリングコース等の充実を図るほか、これらの魅力のPR強化に努めます。  
また、更なる外国人観光客の増加に向けて、安全・安心な観光地づくりに取組み、広くアピールすることで、外国人に選ばれる地域としての魅力度を高め、国際観光の振興を図ります。  
これらの施策をはじめ、異なる分野の交流により新たな価値や活動を生み出す施策を展開して、更なる魅力とにぎわいの創出につなげます。
- 自転車新文化の推進による地域活性化  
「愛媛マルゴト自転車道」や「サイクルオアシス」などのサイクリング環境の充実・利用促進を図るとともに、市町等との連携のもと、新たなターゲットへの裾野拡大や、サイクリングを核とした地域活性化を推進します。

### 2 県民が快適に生活できる環境づくり

- 都市機能の強化や地域活性化を支える社会資本整備の充実  
県都を抱える中予地域の都市機能を高めるため、松山外環状道路やJR松山駅付近連続立体交差事業など交通ネットワーク整備に重点的に取り組むとともに、過疎化・高齢化が著しく進展している山間部・島しょ部においては、高速交通網とのアクセス向上や地域生活道路の充実など遅れている社会資本の整備や生活交通の維持確保に努め、その活性化を図ります。
- 移住・定住の促進と魅力ある地域づくりの推進  
人口減少が進行する中、都市部と山間部・島しょ部が併存し、地域資源が豊富で、産業や高等教育機関も集積するなど、様々なライフスタイルが選択できる中予地域の魅力を強く発信するとともに、市町や大学、地域おこし協力隊などとも連携しながら、中予地域への移住・定住を促進します。  
さらに、移住者等の起業支援など地域を支える人材の育成・確保をはじめ、地域活動の活性化や集落機能維持に向けた取組みを支援するなど、市町や民間団体とも連携しながら、魅力ある地域づくりを進めます。

### ○ 環境に優しい地域づくりの推進

松山市を中心とした都市部における身近な環境問題への理解促進と、快適な都市空間の形成を図るため、中予地域の事業者等と協働し、3R活動など資源の循環的利用と廃棄物の減量化、適正処理を推進するとともに、適正処理の啓発・指導にも取り組みます。

また、都市近郊や中山間地域において、森林や水田等の適正な管理・保全を進めます。

### ○ 支え合う福祉社会づくりの推進

人口が集積する中予地域では、高齢者、障がい者、子どもの福祉分野における多種多様な課題が山積しているため、住民やボランティア、NPO、各種団体、企業など、地域の多様な主体が協働して、高齢者や障がい者、子どもが安心して愛顔<sup>えがお</sup>で暮らせる地域づくりに取り組みます。

特に、地域の子育て支援グループの育成による子育て環境の整備や、文化活動を通じた障がいのある人となない人との交流拡大による障がいに対する理解促進を図ります。

また、大学や研修施設が集積している強みを生かして専門性のある研修事業を実施するなど、人材の育成を進め、福祉サービスの向上につなげます。

## 3 県民の生命・財産を守る体制等の整備

### ○ 平成30年7月豪雨災害からの早期復旧と地域の防災力強化

住民生活や経済活動の早期回復に向け、市町及び関係団体等と連携しながら、被災箇所の迅速な復旧を進めます。

また、今後発生が見込まれる大規模災害から人と生活と産業を守るため、行政、消防、医療、自主防災組織等の防災関係機関が連携して防災体制の一層の強化を図るほか、自主防災組織のリーダーとしての防災士の養成や積極的活用、産業基盤の保全、防災施設の整備、住宅の耐震化など、災害に強い地域づくりに取り組みます。

### ○ 質の高い医療提供体制の充実と健康づくりの推進

地域としての総合的な医療体制を確保するため、都市部に集中する医療機能の活用により山間部や島しょ部の医療体制の補完を図るほか、市町と連携して地域包括ケアの推進に取り組むとともに、救急医療体制の維持・確保や、軽症患者における救急医療の適正利用に向けた県民の意識啓発に努めます。

また、若い世代から健康に留意し、生活習慣病予防に取り組むことができるよう、企業や事業所、団体と連携して働く世代の健康づくりの機運を醸成します。

### ○ 安全・安心な消費生活の推進

依然として多発する悪質商法などの消費者トラブルや成年年齢の引き下げなど、消費者を取り巻く環境の変化のほか、食品流通の広域化・複雑化に伴う食に対するリスクの高まりに対応するため、関係機関と連携しながら、消費者からの相談体制の強化や学校・地域など様々な場における消費者教育に取り組むとともに、事業者に対する指導監督などにより、消費者保護を推進します。

## 4 活力ある産業づくりの推進

### ○ 営業力の強化による愛媛産品の販路拡大

「スゴ技」「すご味」「すごモノ」「スゴVen.」のデータベースにつながる新しい技術や商品等の発掘、情報収集に努め、市町や関係機関等と連携して、中予地域に根差した愛媛産品の販路拡大を支援します。

### ○ 産業を担う人づくりと企業誘致の推進

次代を担う若者と、中予地域に数多く存在する魅力ある地域産業や農林水産業等との触れ合い

の機会を提供し、若年期から相互理解を深めるとともに、女性の起業や再就職等を支援することなどにより、中予地域の産業を担う多様な人材の育成・確保や雇用のミスマッチの解消につなげます。

また、市町や関係団体と連携しながら、先端素材関連産業や情報サービス関連産業などが立地する中予地域の特性を生かした新たな企業の誘致にも取り組みます。

#### ○ 魅力ある商店街づくりの推進

大消費地を抱える中予地域では、魅力次第で商店街の集客力を高めることが可能であることから、商店街でのにぎわい創出や地域コミュニティ機能を強化し、商店街に商品販売の場としての役割だけでなく、社会的・文化的な情報発信や地域コミュニティの担い手としての役割を持たせるよう支援し、郊外店に匹敵する魅力ある商店街づくりにつなげます。

#### ○ 魅力ある農林水産物の戦略的な産地づくりと競争力強化

県内最大の消費地である松山市を抱える地域特性を生かし、収益性の高い品目導入による戦略的な産地づくりを推進するとともに、中予地域の魅力ある農林水産物を活用し、農林水産業者と商工業者等の連携や6次産業化を支援しながら、地産地消の推進と生産者の所得向上に取り組むほか、農林水産業の経営基盤強化を図るため、経営の自立に向けた取組みを支援します。

また、平成30年7月豪雨災害により被災した農家の営農継続に向けて、行政やJA等関係機関が連携して引き続き災害復旧を進め、産地の将来を見据えたモデル的な園地再編や、新たなかんきつ経営モデルの構築などに取り組み、全力を挙げて産地の復興を支援します。

#### ○ 中山間地域農林業の活性化の推進

中予地域の中山間地域農林業の活性化を図るため、生産効率を高めるための設備や技術の導入・普及をはじめ、土地基盤や水利施設、林道等の整備など、総合的な生産対策に取り組むとともに、放牧による荒廃農地の再生や鳥獣害防止対策の充実強化を目指します。

また、集落機能の維持や生産・生活基盤の確保のため、高齢農業者が栽培しやすい作目の導入と普及に加え、道の駅等の直売所の有効活用や都市と農村の交流を通じた地域農業の活性化を促進します。

#### ○ 森林資源の活用

豊富な森林資源を有する中予地域の中山間地においては、これまで育ててきた森林資源を活用していく時代を迎えており、主伐や搬出間伐の推進、ICT等を活用したスマート林業の導入等による県産材の増産を図るほか、林業担い手の確保・育成に努めるとともに、バイオマス利用の拡大やCLTの普及促進による新たな需要の創出により、林業・木材産業の成長産業化を目指します。